



平成31年1月22日

校長 落合浩一

「5学年の歌声を響かせ、星（「STAR☆」）のように輝こう！」～合唱コンクールの開催～

今年の冬の気温は、東日本では平年並か高く、西日本では高いと予想されています。冬は寒くなくては！？という人もいると思いますが、体の硬い私にとっては、暖かい方が動きやすいです。しかしながら、神奈川県では12月から1月にかけて、雨も降らず空気も乾燥し、インフルエンザが猛威を振るっています。1月11日（金）に開催された合唱コンクールでは、インフルエンザに罹患している生徒が出始めていましたが、何とか開催することができ、ホッとしています。今年のテーマは「STAR（スター）・☆彗」。5つの片によって支えられている星のように、5学年が共に支え合いながら、キラキラとした星のように輝こうという意味が込められています。毎年、恒例となっている合唱コンですが、各クラスが練習に練習を重ね、時には生徒同士ぶつかり合いながら長い時間をかけて一つの曲を仕上げ、本番を迎えています。ステージに立つ生徒一人ひとりの顔には、取り組んできた者しか味わえない自信と誇り、クラス・学年の絆が歌声と共に会場全体に響いていました。合唱コンも時代とともに変化していくと思いますが、合唱コンでしか得られないものを大切に、今後もより良い行事にして欲しいと思います。

「課題研究を地域で発表！」～中地区・県西地区学習成果発表会に参加～

平成30年12月26日、平成30年度中地区・県西地区学習成果発表会が伊勢原高校で開催され、本校からは、課題研究に取り組んでいる5年次生の三田村優希さん、加藤紅音さんの2名が参加してくれました。この学習成果発表会は、平成28年度から始まった県立高校改革の取組みの一つで、「質の高い教育の充実」を実現するために、各校の生徒が取り組んでいる学習成果を

自校だけではなく、他校生徒へも広げながら共に高め合おうという趣旨のもと、毎年、開催されています。各校の発表内容は、「人類共生のために解決すべき課題」や家庭や地域とつながる陶芸窯「レゴロボットを使ったプログラミング作品の紹介」「手作り洗剤で家中をぴかぴかに」「色による集中力の違い」など、様々なテーマで取り組んでいることが生徒の発表を通して理解できました。本校の2人の発表では、三田村さんは、「鉄道の遅延について」というテーマで、遅延の原因と対策について、様々な資料を活用しながら考察・まとめを行い、加藤さんは、「睡眠時に見る夢と現実に起こったことの関係性」というテーマで、自身が見た夢を日記に記録し、それを元に様々な資料を活用し、夢の分析を行いながら発表しました。2人共に、身近な事に着目し、テーマを絞り、丁寧に先行研究や資料を活用しながら分析・考察し、まとめていました。会場の生徒や先生方からの熱い視線や研究としてのまとまりに、好評価を受けていました。こうした発表の機会を活用しながら更に研究が深化していくことを期待します。

【追記】

今年は、創立11年目を迎え、11月1日（金）の開校記念日に「10周年記念行事」を開催する予定となっています。これまで取り組んできた学習活動等を踏まえ、県立中等教育学校として更に発展していくために、生徒・教員・保護者・地域の皆様と協働した学校づくりを進めてまいります。そして、「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」の3つの力の育成を目指して取り組んでいきたいと思っています。引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。